

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	鳥栖市立旭小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級と通常学級、また特別支援学級間の連携推進が不十分だったので改善をすすめていく。 ・個が生きる学級集団づくりという点で課題が見られたので、学級づくりについて研修会を開催し担任のスキルアップを図る必要がある。
2 学校教育目標	「明るく元気なあいさつができる子ども」「最後まで粘り強く学ぶ子ども」「百の力で体を鍛える子ども」を具体的な目標に掲げ、旭を愛し、共に学び、たくましく生きる児童の育成を目指す。

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①特別支援教育の充実を図る。 ②個が生きる学級集団づくりを目指す。 ③学力の向上を図る。 ④地域社会との連携・協働を推進する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
(1)共通評価項目											
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・教職員間でマイプランを共有すると共に、校内研修等で取組の促進を図る。								
	○算数科を中心に「学び合い」の時間を確保し、学び喜びを実感できるように取り組ませる。	○算数科において「自分の考えをもとに学び合いを行ったか」「算数は楽しいか」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合を75%以上	・学び合いにおいて話し合いの視点を明確化したり、考えがより伝わりやすいノートの工夫をしたりするなどの手立てをする。 ・自学ノートについては、意欲喚起のために模範となるノートを提示したり、学年学級通信等に掲載し内容の向上に努める。								
	○個人及び全校の読書のため(読書量、ジャンル等)を設定し読書生活を豊かにする。	○個人及び全校の読書のためを達成できた児童の割合70%以上	・個人による読書のめあてと、共通のめあて「1人100冊」を設定する。								
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳科の年間指導計画と別業に沿って、計画的・発展的な指導を行う。 ○全学級によるふれあい道徳を実施する。	・道徳科の年間指導計画と別業に沿った指導後、見直しと改善を行う。 ・ふれあい道徳の実施について、学校便りや学級便りで保護者に内容を伝える。								
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめ・いのちを考える日」に合わせたアンケートで、肯定的な回答をする児童80%以上	・基本的人権を尊重し、差別やいじめをゆるさない一人ひとりが安心して生活できる学級作りの推進。 ・児童との関係作りを行いいじめの防止・早期発見につなげる。								
	◎個が生きる学級集団づくり	◎5月と12月に実施するQUアンケートで、学級満足度を70%以上、要支援群を10%以下	・学級会を中心とした「話し合い活動」の充実。S-PDCAのサイクルを繰り返し回していき、自分達の生活を問い直し、より良くするための提案や課題を見つけることができる児童を育む。 ・学級づくりに関する研修会を実施する。								
●健康・体づくり	○運動習慣の改善や定着化	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間420分以上の児童生徒60%以上	・運動教室やなわとび大会などを開催し、運動する機会を作るようにする。 ・各クラスにドッジボール、サッカーボール、長縄、ドッジビーを配布し、外遊びの環境を整える。								
	○望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○「健康に食事は大切である」と考える児童90%以上 ○「毎日朝食を食べる」児童95%以上 ○給食残食率4%以内	・朝食の大切さについて、児童には、掲示物や委員会活動、学級活動などで定期的に働きかける。保護者には、食育(給食)便りやホームページなどを通じて、情報発信する。								
	○安全に関する資質・能力の育成	○児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・交通立ち番の職員が登校の様子を把握し、即時指導を行うとともに、警察署などから指導を仰ぎ、安全で実践的な通行の仕方や避難の仕方についての理解を深める。								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守し、全職員の達成を目指す。	・定時退勤日を毎週金曜日に設定する。 ・学校閉庁日の設定をする。 ・時間外勤務月45時間以内を遵守する。 ・労働安全衛生委員会の積極的開催。								
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率100% ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報発信を年間3回以上行った学級率80%以上	・年に1度、授業参観で教科「日本語」の授業を実施し保護者に公開する。 ・3校の日本語コーディネーター会議を実施し、昨年度の反省から見直しを図るとともに、新しい評価について職員へ知らせるための研修会を設ける。								
○特別支援教育の充実	○通常学級や外部関係機関との連携充実	○校内支援委員会「巡回相談」の連携した取り組みにより、校内での継続的な個別支援を最低5名は行える体制をつくる。 ○通常学級・支援学級双方方向からの交流推進のための授業実施100% ○特別支援学級在籍児童についての外部機関連携(含巡回相談)を100%とする。	・「巡回相談」の事前事後に「校内支援委員会」を行い、継続的な個別支援体制をつくる。 ・自立活動の実践を出し合い、長期スパンで系統的に取り組みを進められるように自立活動区分毎に系統表を作成する。 ・自立的な行動から自己肯定感が高められる場面に焦点を当て、両学級双方からの授業実践を行う。 ・研修と外部機関連携を計画的に進め、ケース別に対する専門性を高め、児童に合った外部機関連携を行う。								
○地域社会との連携・協働	○行事再編に係る地域との連携強化	○学校行事への地域人材の積極的参加を推進、80%以上を目指す。 ○地域からの協力依頼へ90%以上応じる。	・PTAとの連携を密に行う。 ・学校行事の一部を「まちづくり推進協議会」へ移行する。 ・区長会、民生委員会、まちづくり推進協議会等の地域の会合やマチコミメールを介した情報発信に努め								

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---